

府養研ニュース

平成19年7月6日発行
大阪府養護教育研究会
会長 坂ノ上 泰博
(摂津市立第三中学校)

臨時号
7月中旬
発行予定。

ホームページもご覧ください。<http://fuyouken.visithp.jp/>

6月号の発行が遅れましたので、6・7月合併号として発行します。

ニュースや本会活動への問い合わせ・ご意見は、Mailにて

件名に「府養研問合せ」など「府養研」を入れてください。**アドレスを変更しました。**

jimukyoku07@fuyouken.visithp.jp

アドレスをテキストで載せるとスパムメールが多数届いてしまうので、画像で張り付けてあります。お手数ですが、手入力をお願いします。

平成19年度 府養研役員総会 府養研支部役員、本部役員

年間活動等の計画を立てます。支部長様からは毎回支部報告をお願いしております。

第2回平成19年 9月 6日(木)午後3時～5時 アウィーナ大阪 信貴の間

第3回平成20年 1月17日(木)午後3時～5時 アウィーナ大阪 生駒の間

府養研55周年記念大会 **二次案内配布します** **申し込み必要**

平成19年8月7日(火) 午前9時30分～午後4時30分

「大阪の特別支援教育のあり方を求めて」 ー続・支えの教育の発信ー

午前講演 「気になる子どもへの社会性指導の実際」

宮川医療少年院院長 特別支援教育士スーパーバイザー 小栗正幸 氏

※通常学級の先生(生徒指導)にもおすすめてです。

午後分科会 8分科会 大会HPもご覧ください <http://fuyouken.visithp.jp/55/>

会場 大阪国際会議場 参加資料代 500円

自閉症教育プロジェクト講演会 参加費無料 申し込み不用 **案内再添付**

平成19年7月21日(土) たかつガーデン 2Fコスモス

「クラスでのアスペルガー症候群、高機能自閉症への気づきと支援」

講師 松本 恵美子氏(神戸市西区保健福祉部 査察指導員)

(説明) まず担任が気づくことが支援のはじまり。クラスの子どものたちのようすから、どんな点について気をつければ気づきに至るのかなどについて、障害特性の理解も含め、具体的にお話しただけです。

ICT活用プロジェクト夏期講座 案内をご覧ください。 申し込み必要、定員あり。
 平成19年8月16日(木)・17日(金) 9:30~17:00 高槻市立芥川小学校
 「二学期から役立つICT活用」 e-mail または fax にてお申し込み下さい。(案内)
 Flash制作、ソフト活用、スイッチ製作、VOCAの作成、マウス改造、ワンコイン教材
 国語指導、学校でのICT活用など、8講座。

施設見学研修会 大阪府立たまがわ高等支援学校 案内添付 申し込み必要

学校の説明や施設見学と共に、6グループに分かれ、清掃実習や食品生産実習など日々の授業のシュミレーションを体験実習します。

平成19年8月23日(木)13:50集合~17:00終了

7月20日(金)締め切り(厳守) Mail または Fax

定員48名(府養研役員及び行事部員を含む) 申し訳ありません、教師のみです。

中河内支部から ・中河内支部総会が行われました。

・柏原市養護学級交流校外学習が大阪市此花区のアミティ舞洲にて6月14日(木)15日(金)に行われました。

・東大阪市養護教育研究会主催、林間学校が生駒ふれあいセンターにて行われました。

詳細は、順次、府養研ホームページの支部のページに掲載されます。

以下は他団体の案内です。

マジカルトイボックス第24回イベント

2007年8月11日(土) 10:00~18:00 国立オリンピック記念青少年総合センター

一般展示・実演、AACセミナー、パネルディスカッション(制作講座、体験セミナー)

参加費2000円(資料代を含む)マジカルトイボックス事務局 (event24@magicaltoybox.org)

【詳しくは】<http://www.magicaltoybox.org/mtb2007-8event.html>

今回の聞き所は事務局の小松敬典氏の講演とアドバイザー諸氏のパネルディスカッションです。

体を動かすことの喜びを感じるー第31回 肥満の改善と予防のための夏期教室ー

肥満の改善と予防のための夏期教室です。詳細は案内をご覧ください。

平成19年8月1日(水)から8月3日(金) 午前9時30分~正午までの3日間

主催 財団法人大阪養護教育振興会 <http://www.osaka-yougo.or.jp/>

場所 大阪市立阿倍野スポーツセンター 定員 20名(定員になり次第に締め切り)

受講料 6,000円

養護教育講座 主催 財団法人 大阪養護教育振興会

平成19年8月31日~平成19年12月14日の間 毎金曜 18時30分~20時30分 15回

場所 財団法人大阪養護教育振興会 <http://www.osaka-yougo.or.jp/>

受講料 全講座 20,000円 選択講座 一講座2,000円 内容や申し込みについては案内参照

定員50名(定員になり次第締め切り)

各市町村教育長 様
各 校 園 長 様
各 関 係 者 様

平成19年6月20日
創立55周年記念大会
大会実行委員長 坂ノ上泰博

大阪府養護教育研究会 創立55周年記念研究大会

(二 次 案 内)

①大会テーマ 「大阪の特別支援教育のあり方を求めて」
— 続・支えの教育の発信 —

②趣 旨

大阪府養護教育研究会は大阪府下（大阪市を除く）の盲・聾・養護学校、養護学級を設置する小・中学校、大阪教育大学附属特別支援学校の校長および、特別支援教育コーディネーター、各担任、各種教育機関の職員、その他本研究会の趣旨に賛同する者で組織される養護教育・特別支援教育の振興を図る団体です。

本年、本研究会は創立55周年を迎えます。同時に本年は、4月1日に「学校教育法等の一部を改正する法律」が施行され「特別支援教育」が本格実施される年でもあります。全国に先駆けて「共に育つ」教育を進めてきた大阪においても特別支援教育の実践を進めていく大きな節目の年です。

今大会では、すべての障害のある幼児・児童・生徒一人一人のニーズに応え、子どもたちが学校・家庭・地域社会で生き生きと主体的で豊かな生活を送れるように大阪の養護教育・特別支援教育のあり方を様々な立場から考えていきます。

③主 催 大阪府養護教育研究会

④後 援 大阪府教育委員会 大阪市教育委員会 堺市教育委員会 大阪府都市教育長協議会
大阪府町村教育長協議会 大阪府立高等学校長協会 大阪府公立中学校長会
大阪府公立小学校長会 大阪国公立養護教育諸学校長会 大阪府国公立幼稚園長会
(社団法人)大阪府私立幼稚園連盟 大阪養護教育推進連盟 (申請中も含む)

⑤日 時 平成19年8月7日(火) 午前9時30分～午後4時30分

⑥会 場 大阪国際会議場 大阪市北区中之島 5-3-51
JR環状線・阪神「福島」・地下鉄「阿波座」・JR東西線「新福島」下車 徒歩10分

⑦参加資料代 500円(資料・通信費)

⑧日 程

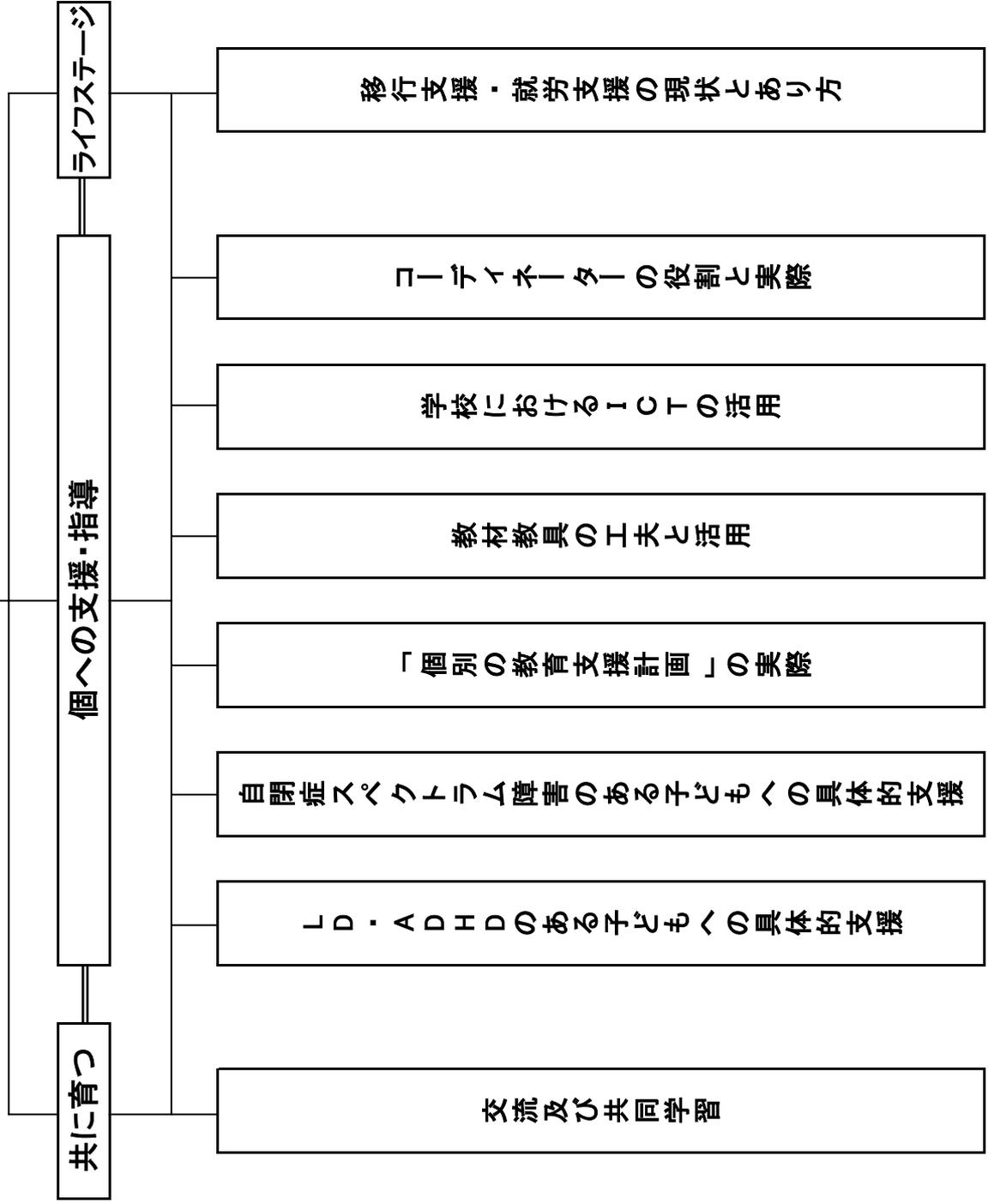
9:30 10:00 10:15 12:00 13:30 16:30

受付	開会・挨拶・趣旨説明	講 演	昼食	分 科 会
----	------------	-----	----	-------

⑨講 演 (10:15~12:00)

演 題	「気になる子どもへの社会性指導の実際」		
講 師	宮川医療少年院院長	特別支援教育士スーパーバイザー	小栗正幸 氏

支えの教育



番号	分科会名	内 容	発 表 者	助言者&講演
1	交流及び共同学習	《シンポジウム》 ※「交流及び共同学習」の意味と意義を考える	※東京農業大学農学部バイオセラピー学科 教授 滝坂信一 ※広島大学大学院教育学研究科教授 教授 落合俊郎 ※兵庫県三木市立教育センター 所長補佐兼指導主事 佐藤 豊 ※高槻市立芥川小学校 教諭 田村真一	
2	LD・ADHDのある子どもへの具体的支援	《講演と質疑応答》 ※LD・ADHDのある子どもへの具体的な支援 一気つきから手だてへ	※堺市立向丘小学校 教諭 米田和子 ※神戸市教育委員会指導部特別支援教育課 指導主事 中尾繁樹 こうべ学びの支援センター	
3	自閉症スペクトラム障害のある子どもへの具体的支援	《実践・事例報告》 ※自閉症スペクトラム障害の理解と指導上の工夫	※堺市立百舌鳥養護学校 教諭 金井孝明 ※豊中市立北緑丘小学校 教諭 宮本郷子	
4	「個別の教育支援計画」の実際	《実践報告》 ※小・中学校・養護学校での実践 ※今後のあり方について	※府下の報告から	※大阪府立たまがわ高等支援学校 教諭 浄土寺 晃
5	教材教具の工夫と活用	《講演・教材紹介》 ※子どもに分かりやすく、楽しめる教材 ※具体的教材紹介	※『象の会』 内藤 壽、 松永榮一、 朝井翔二	
6	学校におけるICTの活用	《講義・実践紹介》 ※障害のある児童生徒に支援者としてどう取り組むか	※早稲田大学人間科学術院健康福祉科学科 教授 畠山卓朗 ※大阪府立交野養護学校 教諭 近藤春洋 ※大阪市立住之江養護学校 教諭 田中敏弥 ※神戸市立友生養護学校 教諭 大前洋介 ※三重県立特別支援学校西日野にじ学園 教諭 大井雅博 ※東京都立多摩養護学校 教諭 金森克浩	
7	コーディネーターの役割と実際	《実践報告》 ※小・中学校・養護学校での実践	※府下のコーディネーター、リーディングスタッフ	
8	移行支援・就労支援の現状とあり方	《シンポジウム》 ※移行支援、進路支援の実際 ※就労支援の現状とあり方への提言	※大阪市職業リハビリテーションセンター 所長 乾 伊津子 ※NPO法人ミラソル会能力開発課 課長 葛原明美 ※大阪教育大学附属特別支援学校 進路支援部長 河野健三	

11 参加申し込み

◇参加資料代 500円（当日受付でお支払いください。）

◇申し込み方法

下の参加申込書に必要事項を記入して、各支部の研修部員宛にファックスを送ってください。

(1) 申し込み先

(豊能支部) 下岡英生 池田市立渋谷中学校 FAX 072-751-9290	(三島支部) 大藪 浩 茨木市立春日小学校 FAX 072-621-6392	(北河内支部) 草薙正己 交野市立岩船小学校 FAX 072-891-6288	(中河内支部) 土井徳生 八尾市立南山本小学校 FAX 072-999-3482
(南河内支部) 藤田明彦 河内長野市立東中学校 FAX 0721-62-2495	(堺支部) 吉岡勢津子 堺市立向丘小学校 FAX 072-278-0376	(泉北支部) 大岡俊江 泉大津市立上條小学校 FAX 0725-31-4992	(泉南支部) 吉田美奈子 阪南市立尾崎中学校 FAX 072-473-2013

大阪市内の先生、その他関係諸機関

堺市立神石小学校 大村葉子宛 FAX 072-241-2158

メールでも申し込みができますので、以下の大会ホームページをご覧ください。

<http://fuyouken.visithp.jp/55/>

(2) 申し込み締め切り（厳守いただきますようお願いいたします。）

平成19年7月25日(水)

◇会場案内図



会場へのアクセス

- JR「大阪駅」から
市バス（53系統 船津橋行）または（55系統 鶴町四行）
で約15分「堂島大橋」下車すぐ
- JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約10分
- JR東西線「新福島駅」（2番出口）から徒歩約10分
- 阪神「福島駅」から徒歩約10分
- 地下鉄「阿波座駅」（中央線1号出口・千日前線9号出口）
から徒歩約10分
- シャトルバスが「リーガロイヤルホテル」とJR「大阪駅」、
地下鉄・京阪「淀屋橋駅」の間で運行しており、ご利用いた
できます。
- 自家用車の場合は、有料駐車場（1時間500円）のご利用と
なります。

..... 切り取り

55周年記念研究大会 参加申込書

府養研（ ）支部研修部員（ ）宛

（ ）月（ ）日

フリガナ 氏名		市町村名	
所属校名		所属先電話 またはメールアドレス	
講演	参加 不参加	希望分科会番号	

平成 19 年（2007 年）6 月 1 日

学 校 長 様
特別支援教育関係者 様

大阪府養護教育研究会
会長 坂ノ上 泰博

自閉症教育プロジェクト・教育講演会開催のお知らせ

平素は本研究会に格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございます。さて、府養研・自閉症教育プロジェクトによる本年度第 1 回研究会を下記のとおり行ないますので、ご案内申し上げます。

つきましては、貴校の養護学級担当をはじめ、通常学級担当の先生方ならびにコーディネーターの先生方にも多く参加していただけますようによろしくお願いいたします。

記

1. 日 時 平成 19 年（2007 年）7 月 21 日（土）午前 9 時 30 分～11 時 45 分

2. 場 所 大阪府教育会館（高津ガーデン）2 階コスモス

大阪市天王寺区東高津町 7-11

Tel. 06-6768-3911（代）

<http://www.takatsu.or.jp/guide.htm>

地下鉄谷町線・千日前線「谷町 9 丁目」下車 徒歩 約 600m

近鉄「上本町駅」下車 徒歩約 300m

3. 教育講演会内容

講演テーマ『クラスでのアスペルガー症候群、高機能自閉症への気づきと支援』

講 師 神戸市西区保健福祉部 査察指導員 松本 恵美子氏

特別支援教育においては、通常学級に在籍する発達障害（アスペルガー症候群や高機能自閉症、LD、ADHD）への気づきと支援が大切です。通常クラスに在籍している場合が多いアスペルガー症候群や高機能自閉症については、まず担任が気づくことが支援のはじまりでもあります。クラスの子どもたちのようすから、どんな点について気をつければ気づきに至るのかなどについて、障害特性の理解も含め、具体的にお話いただきます。

※ 参加申し込み要りません。会場へ直接お越しください。

※ 問い合わせ先 府養研・自閉症教育プロジェクト事務局

堺市立百舌鳥養護学校内 金井孝明

(Tel. : 072-252-3081 Fax : 072-252-8440)

平成19年（2007年）6月25日

大阪府養護教育研究会会員 様
特別支援教育関係者 様

大阪府養護教育研究会
会長 坂ノ上 泰博

府養研ICT活用プロジェクト夏期講座案内

大阪府養護教育研究会ICT活用プロジェクト夏期講座を下記の要領で実施いたします。
今年度は例年より小規模ですが多数のご参加をお待ちしております。

記

1. テーマ 二学期から役立つICT活用
2. 日時 8月16日(木)・17日(金) 9:30～17:00
3. 会場 高槻市立芥川小学校 <http://www.takatsuki-osk.ed.jp/akutagawa/>
高槻市真上町一丁目2番3号 Tel 072-682-1404 Fax 072-682-1407
JR東海道本線高槻駅下車 約500m
必ず公共交通機関でのご来場をお願いします。
4. 参加費 無料（ただし、材料費等が必要な講座があります）
5. 定員 講座CDEFは、20名（先着順）：申し込み状況をHPでお知らせします
6. 申し込み 下記申し込み先まで、以下の内容を明記の上、e-mailまたはfaxにてお申し込みください。
 - 1) 氏名・所属
 - 2) 連絡先（e-mail、または fax）
 - 3) 参加希望講座記号
 - 4) 懇親会参加の有無（16日講座終了後）※件名を「府養研ICT活用夏期講座申し込み」でお願いします
※参加をお断りする場合を除いて、受付受諾等の連絡はいたしません。
7. 申し込み先
問い合わせ 田村真一（高槻市立芥川小学校）
mail ict07@fuyouken.visithp.jp
fax 072-682-1407
※問い合わせはできる限り、e-mailにてお願いします。
その場合、件名を「府養研ICT活用夏期講座問合せ」でお願いします。
8. 講座
講座は、両日とも午前の部（AM）9:30～12:30、午後の部（PM）14:00～17:00の時間帯で設定しておりますが、講座によっては、複数の時間帯にまたがるものもございます。各講座の時間帯をご確認のうえ、参加講座をお選びください。

講座一覧（別紙やHPの講座内容概略も必ずご覧下さい。）

講 座		16日(木)		17日(金)	
記号	講 座 名	AM	PM	AM	PM
A	あなたも作れるFlash教材（要：パソコン持参） 講師：神佐 博 先生 （16日午後と17日一日間の3コマを必ず受講下さい）		○	○	○
B	みんなで考えませんかソフトの活用 話題提供：平峰厚正先生他	○			
C	簡単なスイッチ製作（材料費：1000円）定員20名 講師：金森克浩先生・禿 嘉人先生・大井雅博先生	○			
D	2メッセージVOCAの作成（材料費：2000円）定員20名 講師：金森克浩先生・禿 嘉人先生・大井雅博先生		○		
E	マウスの改造（材料費：1000円）定員20名 講師：金森克浩先生・禿 嘉人先生・大井雅博先生			○	
F	ワンコインで教材製作（材料費：500円）定員20名 講師：大杉成喜先生・大井雅博先生・佐原恒一郎先生				○
G	国語の指導は面白い（発達障害のある子ども編） 講師：佐原恒一郎先生		○		
H	小・中学校でのICT活用の実際 話題提供者：藤岡聖典先生他			○	

9. 懇親会 16日（木）の講座終了後、懇親会を予定しております。
参加費実費で、会場は当日お知らせいたします。
参加いただける方は、申し込み時にお知らせください。
10. 備考 ※定員に満たない講座は、当日参加も可能です
HPの参加者状況をご覧確認ください。
ただし、準備の都合がありますので、できる限り、7月末までに事前申し込みをお願いします。
- ※定員を超えた場合を除いて、参加の可否の連絡をいたしません。
※各講座の会場は、決まり次第HPにてお知らせいたします。
※上靴をご持参下さい。
※靴は、靴入れをご用意しますので、会場に持ってお入りください
※駐車場はございません。公共交通機関か有料駐車場をご利用下さい。
（JR高槻駅西口南側に一日の利用料1000円の駐車場があります）

府養研ICT活用プロジェクト夏期講座各講座内容概略

各講座内容の概略です。備考欄には、参加に必要な機器や持参するもの等の記載がございますので、よくお読みください。

講座A	16日(木)14:00~17:00・17日(金)9:30~17:00 (部分参加不可)
講座名	あなたも作れるFlash講座
講師	神佐 博 先生 (石川県立七尾養護学校珠洲分校教頭)
内容	<p>Webページでは、Flashを使った自作教材が数多く公開されています。子どもたちに使っていて、「自分も作ってみたい」と思われませんか。</p> <p>テンプレートを準備していただきますので、難しそうと思わず一度ご参加ください。きっと広がる世界があると思います。</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> • Adobe Flash をインストールしたパソコンをご持参ください。 Flash Basic 8 製品版 (http://www.adobe.com/jp/products/flash/basic/) Flash 8の解説本に30日間の体験版がついているものもございます。まずは試してみようと思われる方は、そちらでも可能ですが、できましたら、製品版をご用意下さい (なおAdobeのサイトからは、体験版はダウンロードできません) • 16日午後~17日の全ての時間帯にご参加下さい。 • 神佐先生のサイト「Flash学習教材・製作qee Site」 http://kanza.qee.jp/

講座B	16日(木)9:30~12:30
講座名	みんなで考えませんかソフトの活用
話題提供	平峰厚正先生 (熊取町立西小学校教諭) 他
内容	<p>大阪府養護教育研究会の研究紀要DVDにも神佐先生のソフトなどが入っています。またWeb上でもさまざまなソフトが公開されています。でもそれらのソフトを単に使える子どもたちの学びにつながるのでしょうか?</p> <p>平峰先生は、神佐先生のFlash教材作成講座に毎年参加され、講座で学ばれたソフトを子どもたちに合わせて活用されてきました。そこで大事にされていることを話題提供いただきます。</p> <p>また、参加者の皆様にも実際に活用しているソフトや活用しているときに大切にしていることなどがありましたら、話していただけたらと思っております。</p> <p>それらから、参加者の皆様とともに、ソフトの活用について考えていける講座としたいと思っています。</p>
備考	<p>※日ごろ活用されているソフトやソフトの紹介されているサイトの情報などがありましたら、事前に主催者にお知らせいただくか、当日お持ちより下さい。参加者どうしで、情報を共有しあうことも研究会の大きなお土産になると思います。</p>

講座C	16日(木)9:00~12:00
講座名	簡単なスイッチ製作 定員20名
講師	金森克浩先生 (東京都立多摩養護学校教諭) 禿 嘉人先生 (東京都立城南養護学校教諭) 大井雅博先生 (三重県立特別支援学校西日野にじ学園教諭)
内容	
<p>フィルムケーススイッチ、BDアダプター、マッサージ器の改造を行います。 電池で動くおもちゃ。小さなスイッチが入れられない子どもが、BDアダプターとスイッチで、自分で、動かして楽しめる可能性が広がります。作って、試してみませんか？</p>	
備考	
<p>※材料費：1000円は当日徴収します ※講師皆さんが所属するマジカルトイボックスのHP http://www.magicaltoybox.org/</p>	

講座D	16日(木)14:00~17:00
講座名	2メッセージVOCAの作成 定員20名
講師	金森克浩先生 (東京都立多摩養護学校教諭) 禿 嘉人先生 (東京都立城南養護学校教諭) 大井雅博先生 (三重県立特別支援学校西日野にじ学園教諭)
内容	
<p>ダブルボイスメモを改造し、2メッセージVOCAを (Voice Output Communication Aid) 製作します。VOCAを、使ってみたいけど、高いなと思われる方、是非ご参加下さい。</p>	
備考	
<p>※材料費：2000円は当日徴収します ※講師皆さんが所属するマジカルトイボックスのHP http://www.magicaltoybox.org/</p>	

講座E	17日(金)9:00~12:00
講座名	マウスの改造 定員20名
講師	金森克浩先生 (東京都立多摩養護学校教諭) 禿 嘉人先生 (東京都立城南養護学校教諭) 大井雅博先生 (三重県立特別支援学校西日野にじ学園教諭)
内容	
<p>マウスを改造し、クリックをスイッチに置き換えられるジャックをつけます。 右のページをご参考になさってください http://fyouken.visithp.jp/2005/ict2003.htm</p>	
備考	
<p>※材料費：1000円は当日徴収します ※講師皆さんが所属するマジカルトイボックスのHP http://www.magicaltoybox.org/</p>	

講座F	17日(金) 14:00～17:00
講座名	ワンコインで教材製作 定員20名
講師	大杉成喜先生（滋賀大学教育学部附属特別支援学校教諭） 大井雅博先生（三重県立特別支援学校西日野にじ学園教諭） 佐原恒一郎先生（千葉県立袖ヶ浦特別支援学校教諭）
内容	
<p>講師の大杉先生は、担任する学級で、毎日の「朝の会（日常生活の指導）」の授業に「お楽しみタイム」と称する「自立活動の指導」を設けられてきました。6名の児童が同時に個別の課題に取り組んでおり、そこで使われている教材のほとんどは「百均」で入手できる材料で作られたものだそうです。教材の紹介とともに、製作演習もおこない、予算500円（ワンコイン）で1～2教材を作成して、お持ち帰りいただきます。</p> <p>なお、昨年度に引き続き、佐原先生による「リクエストにお答えするMOCAシンボル作成実演」も並行して行います。</p>	
備考	
※材料費：500円は当日徴収します	

講座G	16日(木) 14:00～17:00
講座名	国語の指導は面白い（発達障害のある子ども編）
講師	佐原恒一郎先生（千葉県立袖ヶ浦特別支援学校教諭） 大杉成喜先生（滋賀大学教育学部附属特別支援学校教諭）
内容	
<p>障害児の国語指導と言えば「ひらがなを覚えよう」「漢字の書き取り」が多いですよね？これらは「ルーティーン」の指導法です。でも、ルーティーンだけではその上は目指せません。むしろ、こだわりや学習の固定化を招きかねません。児童生徒が「頭を使う」国語の教材を紹介させていただきます。</p>	

講座H	17日(金) 9:30～12:30
講座名	小・中学校でのICT活用の実際
話題提供	藤岡聖典先生（東大阪市立繩手南中学校教諭）
内容	
<p>小学校や中学校でのICT活用の実際について、話題提供をしていただき、参加者の皆さんの実践も出していただきながら、いろいろなアイデアを共に考えていく講座としていきたいと思っています。参加者の皆さんもグッズやアイデアをお持ちより下さい</p>	

平成 19 年（2007 年）6 月 28 日

大阪府養護教育研究会会員 様

大阪府養護教育研究会
会 長 坂ノ上 泰博

施設見学研修会案内

大阪府養護教育研究会主催施設見学研修会は、今年度も大阪府立たまがわ高等支援学校のご協力を得て、下記の要領で実施させていただきます。

今年度も、学校の説明や施設見学と共に、6 グループに分かれ、清掃実習や食品生産実習など日々の授業のシュミレーションを体験実習させていただきます。それらを通して、就労に向けて大切にしていくことや子どもたちが理解できる授業の創造など、参加者の皆様の実践に役立つヒントが得られるものと思います。

なお、より多くの方々にたまがわ高等支援学校を知っていただける機会とするため、昨年度参加されなかった方を対象といたしますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。多数の申し込みをお待ちしております。

記

1. 日時 2007 年 8 月 23 日（木）13：50 集合～17：00 終了
2. 見学先 大阪府立たまがわ高等支援学校
東大阪市稲葉 2-3-25 Tel：072-961-4730
HP：http://www.osaka-c.ed.jp/tamagawa-ks/
近鉄奈良線「河内花園」駅北へ約 1km
近鉄東大阪線「吉田」駅南へ約 1.5km
近鉄バス萱島線「菱江停留所」東へ約 700m
3. 集合 大阪府立たまがわ高等支援学校会議室（1F）13：50 厳守
※ 学校北側の正門に入り、正面に見える校舎の右側に玄関があります。
※ 生徒が登校しておりますので、1：30 以後においでください。
※ 必ず、公共交通機関をご利用ください。車の乗り入れは厳禁です
4. 内容
 - 1) 学校の説明
 - 2) 施設見学
 - 3) 体験実習
※ 実習しやすい服装で、上靴（スリッパより「靴」がよい）とタオルまたはハンカチをご持参ください
※ 体験実習のグループわけと体験内容につきましては、主催者できめさせていただきますこと、ご了承ください。

5. 定員 48名（府養研役員及び行事部員を含む）
 ※ 大阪府立もう・ろう・養護学校及び大阪府下（大阪市を除く）小・中学校、大阪教育大附属特別支援学校の教職員のみ参加とします。
 ※ 昨年度参加されなかった方のみ申し込みを受け付けます
 ※ 定員を超えた場合は、主催者で抽選させていただきますが、より多くの学校から参加していただけますよう、複数名の申し込みのあった学校から、まず、人数を減らさせていただきます。
7. 参加費 無料（参加される実習によっては当日材料費として実費(500円程度)が必要になります)
8. 申し込み 7月22日(日)締め切り（厳守）
 ※ 下記申し込み先まで、以下の内容を明記の上、Mail または Fax にてお申し込みください（Fax の場合下記申込書をご利用ください）
 1) 氏名
 2) 所属（小・中学校は、市町村から記載をお願いします）
 3) 連絡先（Mail または Fax）
 ※ 件名は、必ず、「府養研施設見学研修会申し込み」をお願いします。
 ※ 参加の可否は、7月27日（金）までに連絡させていただきます。
 ※ 昨年度参加されなかった方のみ申し込みを受け付けます
9. 申し込み先 箕面市立第二中学校 吉野 猛（行事部長）
 Mail : shisetsu07※fuyouken.visithp.jp
 （※を@に変更して下さい）
 Fax : 072-722-3799

-----切り取り線-----

府養研施設見学研修会申し込み

箕面市立第二中学校 吉野 猛 宛（Fax：072-722-3799）

氏名	
所属	学校
連絡先	Fax または Mail

学校長様・関係教職員様・保護者様

体を動かすことの喜びを感じる

－第31回 肥満の改善と予防のための夏期教室のご案内－

主催 財団法人大阪養護教育振興会 後援 大阪府教育委員会(予定)
 大阪市教育委員会(予定)
 堺市教育委員会(予定)

肥満の改善と予防のための夏期教室です。夏休みを利用して、体を動かすことの喜びを感じる体験を味わってください。どうか奮って参加くださいますようご案内いたします。

1. 参加対象 大阪府内の小学校に在籍し、運動制限などを受けていない児童
2. 活 動
 - (1) 目 的 親子共々に参加することによって、基本的な生活習慣(食事のあり方や基礎的な運動方法)を身につけ、生活習慣を整える意欲、実践への意欲付けを目的とします。
 - (2) 方 法 低学年、高学年に分け、医師、看護師、栄養職員、訓練指導員がチームを組み、お子さんの健康観察を行いながら実施します
 - (3) 内 容 ・サーキットトレーニング、なわとび、動きのある遊び、家庭でできる運動等をいたします。
 ・期間中、保護者の方には医師、栄養士、訓練指導員の講話を聞いていただきます。
3. 期 間 平成19年8月1日(水)から8月3日(金) 午前9時30分～正午までの3日間
4. 会 場 大阪市立阿倍野スポーツセンター
 (大阪市阿倍野区阿倍野筋3-10-1-100) ☎06-6647-0086
 地下鉄谷町線・阿倍野駅下車すぐ、地下鉄・JR天王寺駅下車南へ10分
5. 定 員 20名(定員になり次第に締め切ります。)
6. 受講料 6,000円
7. 指導者 医師 看護師 栄養職員 訓練指導員
8. 申込方法 平成19年7月20日(金)までに、申込書に受講料6000円を添えて、現金書留で送ってください。
9. 申込先・問い合わせ先 財団法人大阪養護教育振興会
 ☎545-0021 大阪市阿倍野区阪南町5-12-5 ☎06-6621-1903
10. その他 お子さんの服装は、トレーニングしやすいものを着用させてください。汗をかきますので着替えをご持参ください。
11. プログラム
 - 第1日(8/1) ・開講式 ・オリエンテーション ・健康観察 ・トレーニング ・食事・栄養の講話(保護者)
 - 第2日(8/2) ・健康観察 ・トレーニング ・運動・日常生活の講話(保護者)
 - 第3日(8/3) ・健康観察 ・トレーニング ・反省会 ・閉講式 ・医師の講話(保護者)

第31回 夏期教室 申 込 書

児童名(ふりがな)	男 女	生年 月日	平成	年	月	日
在籍学校名	市立		小学校		学年	
保護者名						
住 所	〒					
電話番号						

学校・幼稚園関係者様
 保育所・施設・病院・保健福祉センター等関係者様

保護者様 平成19年度(第30回) 養護教育講座 ご案内

主 催 財団法人 大阪養護教育振興会

後 援 大阪府教育委員会・大阪市教育委員会・堺市教育委員会・毎日新聞大阪社会事業団

一人一人のニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う「特別支援教育」が、平成19年度から制度上スタートしました。今回は学校、医療、施設等の各現場での具体的で実践的な演題を中心に企画しています。この教育の充実のために、多くの方々のご参加を心からお待ち申しあげております。

[期 間] 平成19年8月31日～平成19年12月14日の間 毎金曜日 18時30分～20時30分 <15回>

[会 場] 財団法人大阪養護教育振興会
 (育徳会館内 3階 幸分ホール 大阪市阿倍野区阪南町5-12-5 電話(06)6621-1903)
 交通の便 地下鉄御堂筋線「西田辺駅」下車 ③出口 北西方向へ徒歩5分

[受講料] 全講座 20,000円 選択講座 一講座 2,000円

[定 員] 50名(定員になり次第締め切らせていただきます)

[申込方法] 申 込 下の申込書に記入の上 [連絡先] あて、7月25日(水)までに郵便かFAXで送付してください。受講料振込み確認後、受講票をお送りします。

(なお、締切日以降に申し込まれる場合は事前にご連絡ください)

受講料は8月1日(水)までに郵便振替(できるだけ自動支払機ATM)でお送りください。

(口座番号)00970-2-314613 (加入者名) 財団法人 大阪養護教育振興会

[連絡先] 財団法人 大阪養護教育振興会
 〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町5-12-5 電話(06)6621-1903 FAX(06)6621-4654

[共通テーマ] 「特別支援教育の展開」

回	月日	演 題	講 師	講 義 内 容 の 概 要
1	8/31 (金)	特別支援教育元年と発達障害のある子どもへの支援を考える	大阪府立交野養護学校 校長 須田 正信	学校教育法等を含め制度的な特別支援教育スタート年に、全国的な動向と大阪における取組状況とその課題の分析をする。
2	9/7 (金)	ADHDのペアレントトレーニングについて	奈良教育大学・特別支援教育研究センター 教授 岩坂 英巳	ADHDなど特別な教育的ニーズのある子どもへの具体的な対応について、ペアレントトレーニングから学ぶ。
3	9/14 (金)	発達障害のある子どもたちの支援について—具体的な実践事例から—	和泉市立国府小学校 教諭 墨 美知子	発達障害のある子どもたちへの支援について、実践事例や教材・教具の工夫についてお話しします。
4	9/21 (金)	巡回相談の活用と「個別の指導計画」の作成	大阪府立岸和田養護学校 首席 貴志 英彦	小中学校への巡回相談の知見にICFの視点も加えた具体的な「個別の指導計画」の作成について紹介します。
5	9/28 (金)	幼稚園、小・中学校等の巡回相談からみえてきたこと	大阪大谷大学教育福祉学部 准教授 小田 浩伸	幼稚園、小・中学校等の巡回相談からみえてきた現状と課題を整理するとともに、様々な事例の理解と支援の方法について
6	10/5 (金)	通常の学級における学習・行動のつまずきの支援	愛媛大学教育学部 教授 花熊 暁	通常の学級で学習や行動につまずきを示す子どもの支援について、学級経営やクラス全体の指導を含めてお話しします。
7	10/12 (金)	支援の実際—心理検査をもとにした事例から—	大阪府教育センター特別支援教育室 指導主事 伊丹 昌一	幼稚園、小学校、中学校、高等学校で実施した巡回相談の実際を、心理検査をもとにした事例から説明します。
8	10/19 (金)	障害のある人のライフステージから「教育」と「就業」をつなぐ	大阪市職業リハビリテーションセンター 所長 乾 伊津子	福祉施設からの就労移行の現状とともに、教育から就労へのつなぎの課題を探り、障害のある人の働く意味を考えます。
9	10/26 (金)	自閉症の特性と理解と支援について	社会福祉法人北摂杉の会 大阪府発達障害者支援センターアクトおおさかセンター 所長 新澤 伸子	自閉症の特性に合わせた支援について、具体例を示して説明する。成人期の実態から学齢期に大切にしたい点を考える。
10	11/2 (金)	個別の指導計画の作成について	大阪市立西淀川養護学校 教諭 古沢 宏明	個別の教育支援計画、個別の指導計画作成のために必要な、情報の収集、分析、目標の設定までの流れを紹介します。
11	11/9 (金)	「個別の指導計画」の作成	大阪市教育センター 研究官 栢木 隆太郎	前週の講義を引き継ぎ、「個別の指導計画」について、その作成手順や方法を概説します。
12	11/16 (金)	障害のある子どもと音楽	大阪市立住之江養護学校 教諭 富田 淳	自閉症や知的障害の子どもに対する音楽を活用した支援について、具体例を紹介しながら考えます。
13	11/30 (金)	特別支援教育と地域連携について	湖南省健康福祉部社会福祉課発達支援室 参事 小西 喜朗	ライフステージに沿った発達支援システム。地域連携をぬきにして特別支援教育は語れない。いままでと今とこれから。
14	12/7 (金)	発達障害のある中・高生のコミュニケーションの問題とその対処について	大阪市教育委員会特別支援教育担当アドバイザー 西岡 有香	高機能広汎性発達障害の中高生のコミュニケーション上の課題について解説し、その指導の方法について述べる。
15	12/14 (金)	発達障害が学習に及ぼす影響について	藍野大学医療保健学部 教授 若宮 英司	学習障害、言語障害、広汎性発達障害、注意欠陥/多動性障害、などの発達障害が学習に及ぼす影響についてお話しします。

平成19年度 養護教育講座 申込書 (月 日申込)	
名前(ふりがな)	勤務先名
自宅の住所	
☎ Fax	
いずれかに○をご記入ください 選択する講座番号に○をご記入ください。	
1. 全講座(20,000円)	2. 選択講座 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 (1講座2,000円)